

まつぼっくり



学校教育目標「主体的に学び合い、達成の喜びを自信に変え、ふるさとを誇りに思う児童の育成」

スクールバス

7:45 三角支所に到着したスクールバス

本校の児童数は昨年より22人に減の119人ですそのうちの過半数が、スクールバスを利用しています。150年ぐらい前のことになりますが、明治7年波多村波多校、明治10年大田尾小学校、明治23年石田分教場、明治8年郡浦小学校本村校、明治7年戸馳小学校の5つもの学校ができ



児童数はとても多かったと聞きます。しかし、時は流れ熊本港ができ三角港からのフェリーの出航がなくなるなどいろいろな環境が変わったことで、人口が減りそれに伴い児童数も減少の一途をたどっています。児童生徒数の減少は、全国各地で言えることですがやはり寂しく感じるものです。児童数の減少により学校の合併が繰り返され、校区はどんどん広がっていきました。自宅から徒歩での通学が難しくなってきたのです。そこでスクールバスの登場です。もちろんスクールバスの運用には多額の費用がかかります。本校にはスクールバスは4台あります。大きいのが3台、マイクロが1台です。当初すべてのバスを学校の駐車場まで登らせる計画もありましたが、子どもがほとんど歩くことができなくなり体力が落ちるとの考えで、大きい3台は三角支所まで子どもたちは登校坂を登るようになりました。マイクロは安全面だと思いますが学校駐車場まで登ってきます。

昨年の初めドライバーさん方にあいさつに行ったときに鮮明に覚えていることがあります。私が「子どもたちはどうですか？」とうかがうと「私たちはなめられとっですもん。」と。その言葉から、当時のスクールバス利用の子どもたちの様子がうかがえました。この言葉の本当の意味を教職員はもちろん我々大人や子どもたちが、深く理解し行動することが大切だと思います。ドライバーの方が気持ちよく送迎できる子どもたちに成長させることは、我々大人の大切な使命だと考えます。これからも見届けていきたいと思っています。

集中

授業前の黙想で心を落ち着かせるたんぼぼ学級の6年生

26日(火)もいつものように短時間ですが、各クラスの授業を参観させていただきました。1年生から6年生まで落ち着いて集中して授業に取り組む様子が見られました。立ち歩く子・寝ている子・教室からとびだす子・暴言をはく子・暴力する子・



教師に反抗する子、今までの教師人生でいろいろな悩みやきつさを抱えさせられた児童生徒を見て

きましたが、本校には上記のような逸脱した、自分自身にとって成長につながらない言動をする児童はいません。本当に落ち着いています。この調子でいけば、学力の向上やいじめや差別のない

学校づくりが期待できます。本年度の残りの10ヶ月、集中できる子どもたちの成長が楽しみです。



山口先生と授業に集中する1年生